



リアビューカメラ LV-RC200

取扱説明書・保証書

このたびは、弊社リアビューカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

本製品の取り付けには専門知識と技術が必要です。必ずお買い上げいただいた販売店にて取り付けを行ってください。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。読み終えたあとはいつでも見られるよう大切に保管してください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため必ずお守りいただきたいことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った取り付け方法や使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

警告

この表示の欄は、死亡または重症を負うことが想定される危害の程度です。

注意

この表示の欄は傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。(下記は絵表示の一例です)



このような絵表示は、気をつけていただきたい【注意・警告】内容です。



このような絵表示は、してはいけない【禁止】内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい【指示】内容です。

警告

- 本製品は、日本国内用です、その他の国でのご使用と故障等については一切の責任を負わないものとします。あらかじめご了承ください。
- 誤った配線を行うと車両に重大な支障をきたす場合がありますので、取付けの際は必ずお買い上げの販売店にて行ってください。
- 本製品の誤った配線や内部の分解・改造による故障や事故等については一切の責任を負わないものとします。あらかじめご了承ください。
- 本製品はDC12Vマイナスアース車専用です。24V車への取付けはできません。
- 本製品は後方確認用のカメラです、他の用途には使用しないでください。
- カメラの取り付け作業や確認作業を行う際は平坦で広い安全な場所で行ってください。
- 配線作業の際は必ずバッテリーのマイナスケーブル側を外してください。感電等の原因となります。
- 配線したコード等は運転操作の妨げとならない場所に束ねたりテープ等でまとめてください。ハンドルやシフトレバー等に干渉すると事故の原因となります。
- 配線の際はケーブル類に傷をつけないでください。断線や、故障・火災・感電の原因となることがあります。
- アース接続には、ハンドル、ブレーキ、燃料タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能、火災の原因になります。
- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類やタンク、他の配線等を傷つけないでください。火災や事故等の原因となります。また穴を開けた際は加工部分のサビ止めや防水・浸水処理を行ってください。
- ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守ってください。事故・火災の原因になります。
- 付属品は幼児の手の届かない安全な場所へ保管してください。万一飲み込んだ場合は医師の指示に従ってください。



注意

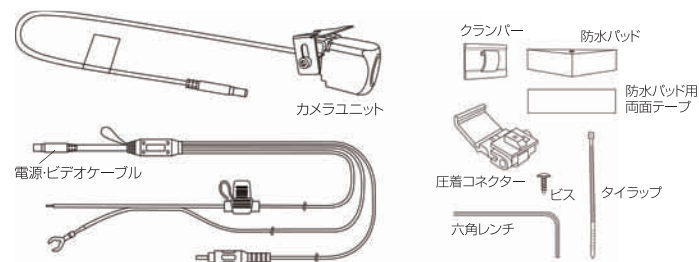
- カメラ本体を車幅・車の前後からはみ出さない場所に取り付けてください。歩行者などにぶつかり事故やけがの原因となります。
- 配線の際はケーブル類をシートレールにはさんだり、コードを引っばる等しないでください。断線や、故障・火災・感電の原因となることがあります。
- 走行前にカメラユニットの貼り付け状態、ネジの緩みがないか点検してください。
- カメラ本体以外は湿気やホコリの多いところや、水のかかるところには取付けしないでください。火災、故障の原因になります。
- カメラ本体が凍結した場合に、熱湯をかけたり加熱しないでください。故障の原因となります。
- 定期的に取付状態(ねじのゆるみ、ブラケットのはがれ)を点検してください。



使用上のご注意

- 本製品は車両後方周辺を確認するための補助装置です。車両後退時の後方や周辺の確認は必ず運転者の目視で行ってください。
- 本製品は後方確認用の鏡像タイプです。ルームミラーと同様に左右反転の映像となります。
- 本製品の映像は広角レンズを使用しています、実際の距離感とは異なる場合がありますので後退時には必ず目視での確認をしてください。
- 本製品を夜間や悪天候に使用される時は、映像が見にくくなるときがありますので必ず目視にて周辺状況をご確認ください。
- 本製品はRCAタイプの映像入力つきモニター接続専用となります。バックギア連動についてはご使用のモニターのバックギア連動機能の有無をご確認ください。
- 洗車機や高圧洗浄機等での洗車は行わないでください。カメラ内部に水が入ったりカメラ本体が外れる恐れがあります。
- 本製品の近くでは携帯電話や無線機は使わないでください。画面ノイズや誤動作の原因になる場合があります。
- 配線の取り回しは地上デジタルアンテナ、GPSアンテナ、スピーカー配線、ETC機器等から離してください。本製品または他の取付機器に不具合が発生するなどの恐れがあります。
- 本説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。

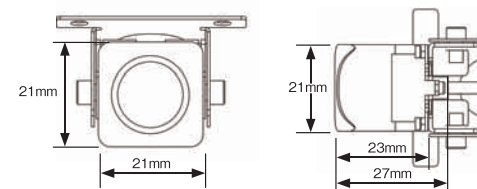
付属品



- カメラユニット
 - 電源・ビデオケーブル
 - 六角レンチ
 - ブラケットビス(×2)*
 - クランパー(×3)*
 - タイラップ(×3)*
 - 圧着コネクター
 - 防水パッド*
 - 防水パッド用両面テープ*
- *必要に応じてご使用ください。

仕様・寸法

電源電圧	DC12V
画角	水平:138° 垂直:105°
消費電力	約120mA
撮像素子	カラーCMOSセンサー 1/4インチ
有効画素数	648(水平)×488(垂直) 約31万画素
照度範囲	0.5lux~10万lx
解像度(水平)	320本
防水	IP67
本体サイズ	21(W)×21(H)×23(D) (背面ブラケット部除く)
重量	カメラ(コード4m含む):約95g 電源ビデオコード:約155g
コード長	カメラコード:4.0m 電源ビデオコード~ビデオコード:5.5m 電源ビデオコード~電源コード:3.0m
レンズ部	F値 2.4 焦点距離1.75mm
動作温度範囲	-30~+70℃
保存温度	-40~+85℃



保証について

- 本製品の保証期間はご購入日より1年間です。ご購入日・販売店名などの記入を必ず確かめ、ご購入の販売店よりお受け取りください。よくお読みの後、大切に保管してください。
- 本製品の故障に從う二次的損害(事業利益・事業中断・他の機器損害・その他工賃等の金銭的損害を含む)に関しては当社は一切の責任を負わないものとします。あらかじめご了承ください。
- 免責事項
火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。

製品保証書

製品名	リアビューカメラ
型名	LV-RC200
保証期間	ご購入日より1年間

ご購入日	
お客様お名前	
ご住所	
電話番号	

販売店名	
住所	
電話番号	
ファックス	

無料修理規定

- 1.本書記載の保証期間内に取扱説明書の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料修理させていただきます。
①保証期間内に無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参、ご提示の上、ご購入の販売店にご依頼ください。
- 2.保証期間内で次の場合には原則として有償修理とさせていただきます。
①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
②ご購入後の輸送、落下などによる故障及び損傷
③火事、地震、水害、落雷、その他天変地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
④船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
⑤本書のご提示がない場合
⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 3.本書は日本国内において有効です。
- 4.本書は再発行しませんので大切に保管してください。

商品についてのお問い合わせ先

L&Vカスタマーセンター
〒190-0182
東京都西多摩郡日の出町平井31-3 株式会社電機サービスセンター内
カスタマーサポート TEL (042)597-7253 [平日10:00~12:00/13:00~17:00]

発売元

中発販売株式会社
〒457-0066 名古屋市南区鳩尾2-114
TEL (052)614-3662 FAX (052)614-3366

取り付ける前に

- 車を平坦で広い安全な場所へ停め、パーキングブレーキをかけてください。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス側のケーブルを外してください。
- 撥水加工されたボディやガラスには取り付けないでください。
- 雨や霧の中では取り付け作業を行わないでください。
- 湿気が多いときは取り付け面を十分に乾燥させてください。水気があると両面テープの接着力が低下しはかれる恐れがあります。
- 取り付け後24時間以内は水にあてたり、カメラ本体に無理な力を加えないでください。

取り付け

1.はじめに

- ①まず仮接続を行い、本製品が正常に動作することを確認してから取り付けを行ってください。
- ②ガイドライン有り無しを選択を行ってください。

ガイドライン有りの場合



※カメラの取り付け位置によりガイドラインの位置が左右にずれます。
(イラストはカメラ本体を車両の中心に取り付けた場合となります。)

電源・ビデオケーブルの分岐部分にある白色のループケーブルが繋がったまま使用してください。
(購入時の状態です)



ガイドライン無しの場合

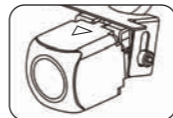


電源・ビデオケーブルの分岐部分にある白色のループケーブルをハサミ等でカットしてください。(カットしたループケーブルはテープ等で絶縁処理を行ってください。)



2.カメラ本体の(仮)取り付け

- ①バックカメラ取り付け面の汚れをクリーナー等でしっかりふき取ってください。
- ②バックカメラ本体の△(シール貼付)が上面にくるように設置場所を確認してください。
- ③バックカメラ取り付けブラケットを市販のテープなどで仮止めしてから取り付けを行ってください。



△ 取り付けに関するご注意

本製品のカメラはブラケット取り付け部分周辺を除き【道路運送車両の外装の技術基準】に準拠しています。2009年1月1日以降に新車登録された車両への本製品の取付けの場合は、保安基準に適合となるよう下記内容をご確認の上取り付けしてください。

※詳細については下記国土交通省ホームページにて参照ください。
http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/kokujitou_index.pdf
http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/saimokubetten/saibet_020_00.pdf
(第18条細目告示別添20.外装の技術基準)

■正しい取付け例

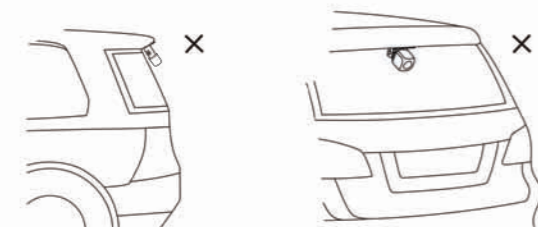
バックカメラ後部が車両にかくれるように取り付けしてください。



グレーの部分(カメラ後部)が車両に隠れるように取り付けを行ってください。

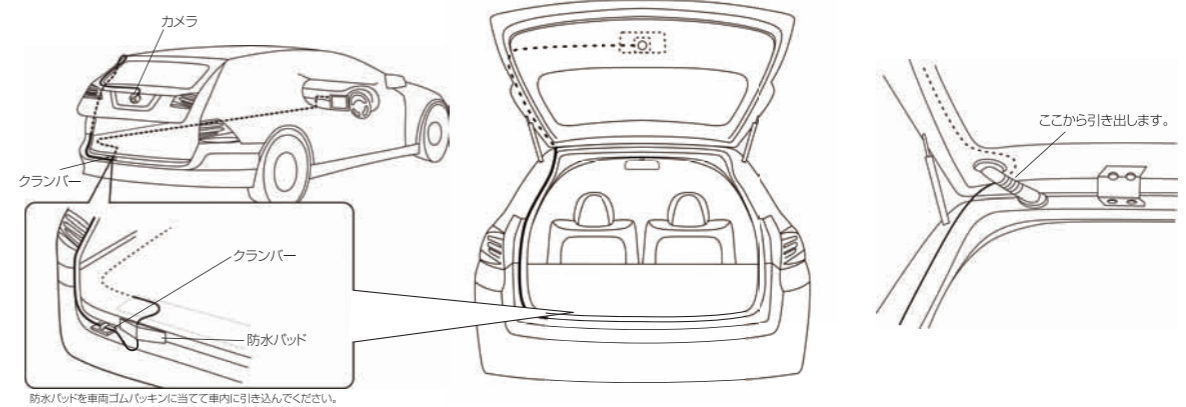
■誤った取付け例

バックカメラ後部が車両に対し隠れない場合は不適合となりますので取り付けをしないでください。

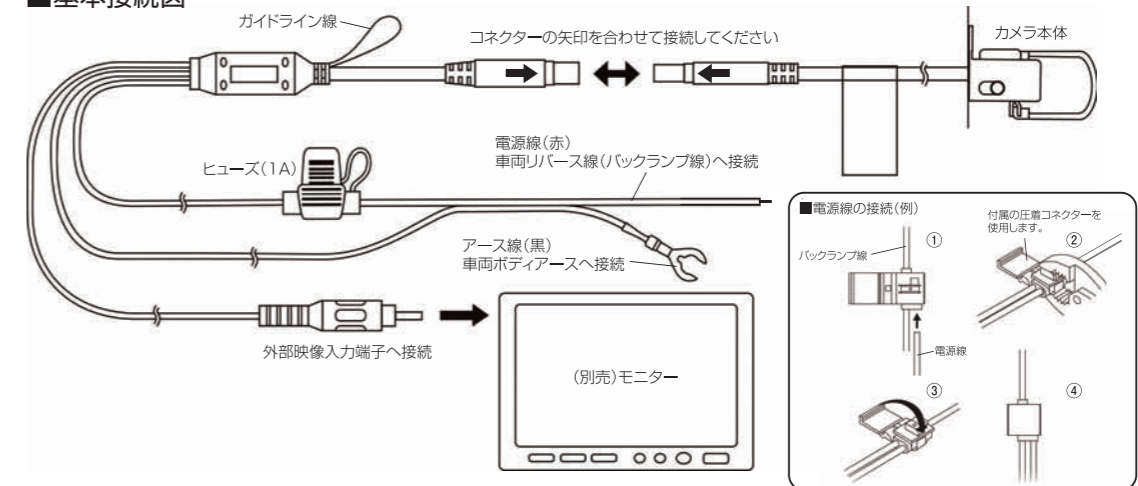


△ カメラはナンバープレートを隠さない位置に取り付けをしてください。左右に大きくずれて取り付けした場合、見え方とイメージが異なる場合があります。バックドアやトランクの開閉時にあたらないことを確認してください。

3.配線コード引き回し例



■基本接続図

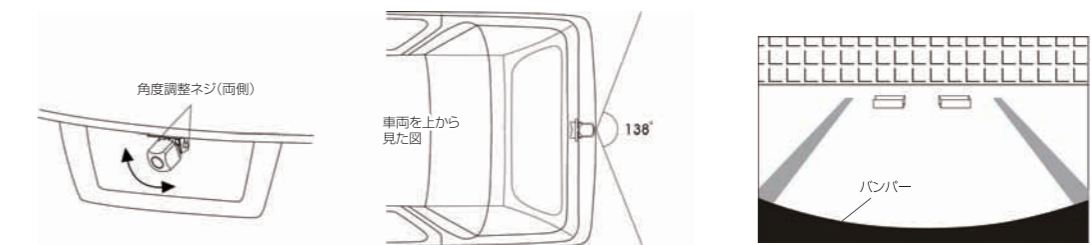


△ 配線コードはテレビアンテナコードやラジオアンテナコードからできるだけ離してください。
(テレビやラジオに不具合が発生することがあります)

4.カメラの角度調整

△ カメラの角度調整の際は車が動かないように、必ずイグニッションキーをOFFにし、パーキングブレーキをかけた状態で行ってください。

- ①シフトレバーをリバース(R)レンジにし車両後方の映像を表示させてください。
- ②カメラ取り付けブラケットの角度調整ネジを付属の六角レンチでゆるめ、カメラの角度を調整してください。車両後部または後部バンパーがモニターの下側に映るように角度を調整してください。
- ③角度調整後、付属の六角レンチを使用してブラケットの角度調整ネジをしっかりと締めてください。
- ④仮止めた、カメラ取り付けブラケットの両面テープのハクリ紙をはがし、しっかりと貼り付けてください。



△ 取り付け後に

取り付け後はブレーキやバックライトなど電装品が元のとおり正常に動作することを確認してください。配線を通した部分はしっかり防水・防錆処理を行ってください。処理ができていないと雨漏りなどの原因となります。